

印旛消防署の救急車が接触事故、搬送9分遅れ

印旛地区消防組合消防本部は8月25日、119番通報を受け出した印旛消防署(印西市)所属の救急車が絡む接触事故が起き、白井市の70代女性の搬送が約9分遅れたと発表した。女性は搬送先の病院で死亡が確認されたという。同本部では、接触事故と女性死亡との因果関係などを調べている。

同本部によると、8月24日午後3時ごろ、女性から依頼を受けた近隣住民から119番通報があった。通報当時は白井消防署と西白井消防署の救急隊が出払っており不在だったという。このため業務を終えて印旛消防署に戻る途中の救急隊に連絡して、印西市内から白井市内の女性宅に向かわせたという。

消防署の救急隊が女性宅に到着したが、運転していた救急車が救急車のギアを「P」(パーキング)に切り替えずに降りたため、救急車が動き出したという。隊員は衝突を避けようとして救急車と前方に駐車中の軽自動車に入ったが、隊員の体が軽自動車に接触し、軽自動車が損傷したという。隊員に怪我は無かった。現場にいた3人の救急隊

員は女性の救急処置を続行し、同行の消防隊員が別の救急車に移動を要請。午後3時55分頃に別の救急車が到着し、女性は午後4時頃にドクターヘリに待機していた医師に引き渡され、八千代市内の病院に搬送されたが、同日中に死亡が確認されたという。

女性は救急隊が到着した時点で意識があり、隊員からの呼びかけには反応していたという。

同本部管理者の板倉正直印西市長は「住民および関係者の皆さまの消防行政への信頼を損ねる事態を招いてしまった事に対し、心よりお詫び申し上げます。再発防止の徹底と住民の皆さまからの信頼回復に取り組みたい」と謝罪コメントを発表した。

白井市「なし坊」着ぐるみ製作費用の募金を開始



白井市は8月31日の定例記者会見で、市マスコットキャラクター「なし坊」の製作費用をクラウドファンディング「キャンプロファイヤー」で募金する事を発表した。

市によると、なし坊の着ぐるみは2014年から使われており、汚れや傷が目立つようになったという。このため市では、着ぐるみを新しく製作する財源確保と、市のPRを兼ねてクラウドファンディングに踏み切ったという。

募金の目標金額は、なし坊のみ製作の場合は106万円、なし坊・かおりの2体を製作する場合は191万円必要という。

募金受付はすでに始まり、10月30日まで募金

受付サイトが、市秘書課窓口、市役所1階の募金箱で受け付けている。

市秘書課によると、9月14日時点でクラウドファンディングに集まった金額は23万5000円、秘書課の窓口には約2万円前後の募金が寄せられたという。

会見で笠井喜久雄市長は「クラウドファンディングをして(募金が)ダメだったら、次の手を考える」と述べた。

「なし坊からのコメント全文は、利根新報WEB版に掲載します」

◆白井市マスコットキャラクター「なし坊」「かおり」を元気にしよう！募金受付サイトはこちら。



千葉ニュータウン中央駅圏複合施設が着工

北総鉄道千葉ニュータウン中央駅南口付近に建設される「(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設」の起工式が8月26日、印西市中央の同施設工事現場で執り行われた。

清水建設千葉支店の原田知明・執行役員支店長や市関係者らが入れの儀式を行い、工事の安全を祈願した。写真

原田執行役員支店長は取材に対し「施工者側からすればよいスタートを切りたいという事から、大変な緊張の中から無事起工式をできたことは、大変ありがたく思っている。最後まで無事故でいものを作ってお客様にお渡しするこれから末永く利用できる建物を皆さんと一緒に作り上げていきたい」と述べた。

新施設の建設事業は、同市初の「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)に基づく特定事業として実施される。新施設は、千葉ニュータウン中央駅圏の多種多様な行政ニーズに対応するため、計300席の芸術ホールなどの文化芸術施設をはじめ、行政施設、健康・福祉施設が入った複合施設。新施設は9月から建設工事が始まり、2025年4月から供用開始予定。

現在の中央駅前地域交流館1号館は24年度から改修工事が始まり、新施設と同じ25年4月からリニューアルオープン予定。

敷地内には民間のクリニックや立体駐車場も整備され、より一層利便性が向上するという。



新施設の建設事業は、同市初の「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)に基づく特定事業として実施される。新施設は、千葉ニュータウン中央駅圏の多種多様な行政ニーズに対応するため、計300席の芸術ホールなどの文化芸術施設をはじめ、行政施設、健康・福祉施設が入った複合施設。新施設は9月から建設工事が始まり、2025年4月から供用開始予定。

印西市木下駅前にぎわい広場、供用開始



印西市木下の日本デキシー千葉工場跡地が「印西市木下駅前にぎわい広場」として9月1日から供用開始した。

同広場は「賑わいの創出」が目的で、芝生広場約1万3000平方メートル、300坪のジョギングコース、小広場約600平方メートルが整備されている。

駐車場は123台駐車でき、開放時間は午前7時から午後7時まで。

同広場のオープニングイベントの一環として、11月4日に「いんざいふるさと産業まつり」が、イオンモール千葉ニュータウン駐車場で同時に開催される。デキシー工場跡地利用に関しては、印西市商工会市街地活性化対策実行委員会が「複合施設構想案」を発表している。本紙8月号既報

我孫子市議選 立候補予定者説明会 10月3日開催

11月12日告示、11月19日投票の我孫子市議会議員選挙(定数24)の立候補予定者説明会が、10月3日午後2時から我孫子市役所分館大会議室で行われる。

我孫子市選挙管理委員会によると、立候補予定者への事前審査は10月下旬ごろに行われる予定。

有権者数は2023年9月1日現在で11万2002人(男性5万4481人、女性5万7521人)。

前回2019年の市議選投票率は42.91%で、15年の市議選では44.83%、11年の市議選では50.25%と、投票率の低下傾向がみられる。

親子連れで大賑わい「110番フェスタ」

警察の緊急通報番号「110番」の正しい使い方や交通ルールを知ってもらう「110番フェスタ」が8月20日、印西市中央北のイオンモール千葉ニュータウンで開かれ、多くの親子連れで賑わった。

会場では、白バイやパトカーなど警察車両が展示され、炎天下にも関わらず子どもたちは白バイにまたがった姿で記念撮影を楽しんでいた。

屋内会場では実際に警察官の無線使用訓練で使われる無線機が登場し、参加者たちは普段触れることのない無線機を手に無線通信体験をしていた。写真

参加者には記念品と一緒に、電話で詐欺防止や自転車運転のルールを守るよう呼びかけるチラシなどが配られた。

9月17日には同所で「秋の全国交通安全運動出発式」が開かれ、買い物客らに交通安全を呼びかけた。

出張無料 見積無料 即日対応

会社・個人経営者の皆さま注目!

オフィス・店舗のお片付け まとめてスッキリ!

大好評!

<p>軽トラ 詰め放題</p> <p>12,900円<small>(税別)</small>~</p>	<p>2トントラック 詰め放題</p> <p>49,800円<small>(税別)</small>~</p>
--	--

個人様
○日用品・粗大ゴミ・家具・家電の片付け
○空き家・ゴミ屋敷を丸ごと片付け
○遺品整理・生前整理...など

法人様
○オフィスや店舗の移転・閉鎖・閉店に伴う不用品の片付け
○福祉施設・老人ホームでの不用品の片付け
○産廃の収集・運搬...など

生前・遺品整理

遺品整理士が心を込めてお手伝いいたします。

草刈り・伐採 廃車の引き取り 廃屋・ゴミ屋敷 倉庫・物置

しょうわ **昌和産業(株)**

茨城県龍ヶ崎市長原代町 5351-2

0297-86-7038

営業エリア 茨城・千葉・東京・埼玉

https://www.syowasangyo.com/

古物商 茨城県公安委員会 第401140001610号